

トイレ計画について

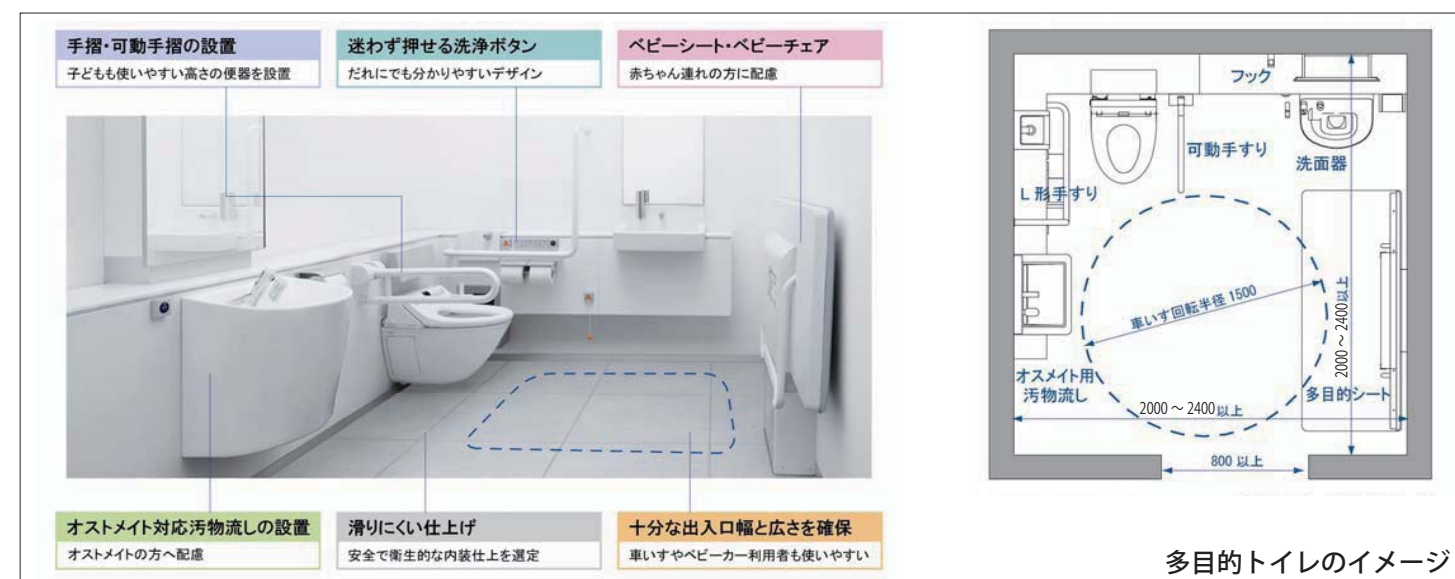
基本方針

<一般トイレ>

- ・職員・来訪者が利用しやすい配置および仕様を計画します。
- ・大ホールおよび小ホールに関しては、適正な個数を算出します。各トイレともにイベント時以外でも来訪者が使えるトイレとして計画します。
- ・バリアフリー新法および北海道福祉のまちづくり条例に適合したトイレを計画します。

<多目的トイレ>

- ・誰でも使用できるトイレとして、各階に1個以上の設置を検討し、障がい者でも使いやすい仕様・計画を行います。
- ・オストメイト対応の多目的トイレとします。
- ・車椅子の回転半径 1500 mmを考慮した動線・機器配置を行います。



多目的トイレのイメージ

利用人員・器具個数の算定

- ・トイレの衛生器具の個数は、空調調和・衛生工学会の「衛生器具の適正個数算定法」による算定方法に基づき、客席トイレの適正器具数を算定する。*空調調和・衛生工学会の算定方法とは、トイレの占有時間や待ち時間などの調査データを基に算出。
- ・建物の種類によっても算定方法は異なり、例えば、事務所や病院、商業施設などでは「任意利用型（利用時間の偏りが少ない）」、劇場や学校などでは「限定利用型（一定時間内に利用者が集中する）」で個数を導く。
- ・算定グラフによる適正器具数は、トイレ設置場所ごとで想定される利用人員を基準として決定する。利用人員の算定は、劇場の最大席数で算出することができる。男女比については、与条件がなければ、特に女性を多く見込み、男：女=4：6で設定する。（実際は上演内容によって変動する。）

- ・待ち時間の評価によるサービスレベルがあり、レベル1が最も良好なレベルとなる。
- ・下図の算定表により、基本計画・設計では、「サービスレベル1」の個数を満たすように計画する。算定結果は下記に示す

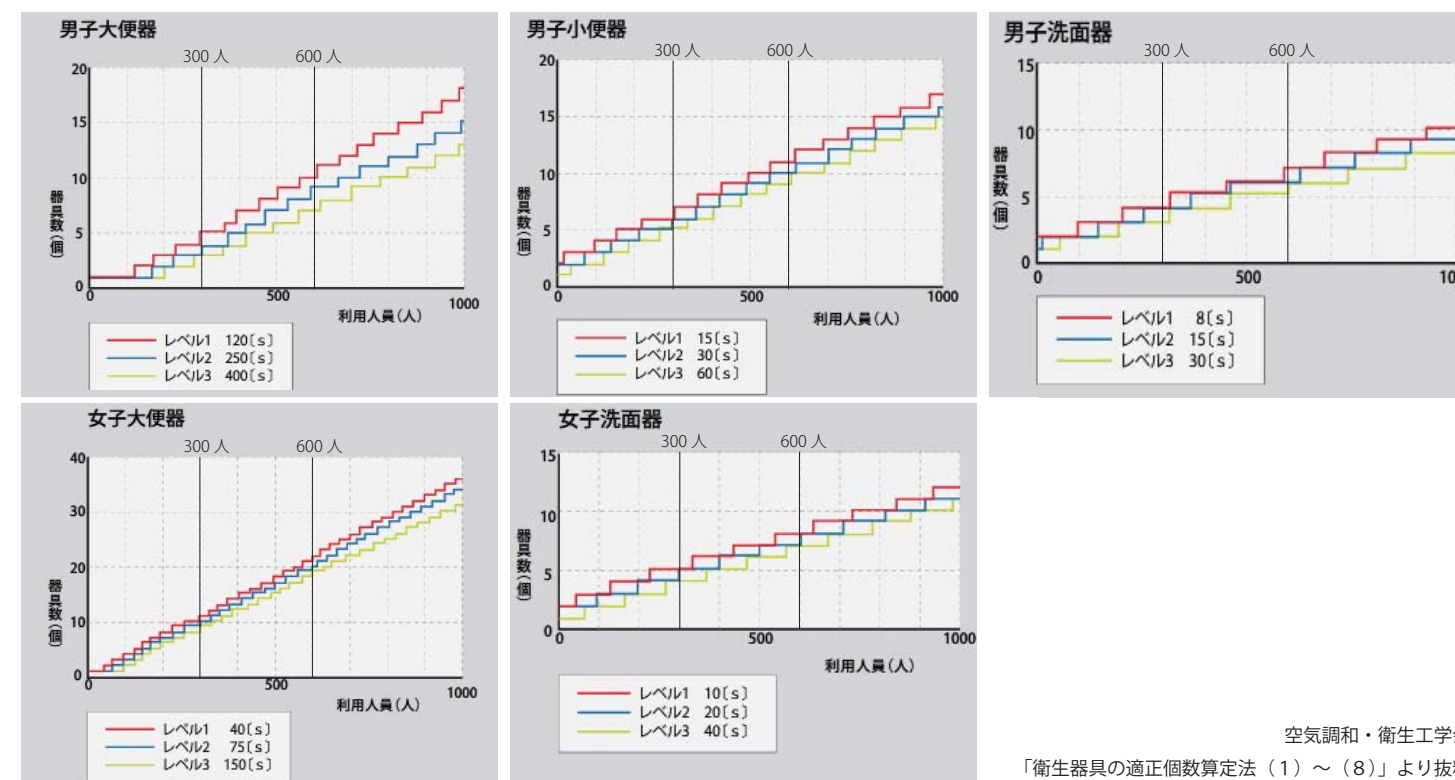
レベル1は待つことが少ない良好なレベル
 レベル2は標準的なレベル
 レベル3は最低限のレベル

<大ホール>・・・600人想定

男子大便器 (240人)	レベル1・・・4個 レベル2・・・2個 レベル3・・・2個
男子小便器 (240人)	レベル1・・・5個 レベル2・・・5個 レベル3・・・4個
男子洗面器 (240人)	レベル1・・・4個 レベル2・・・3個 レベル3・・・3個
女子大便器 (360人)	レベル1・・・14個 レベル2・・・12個 レベル3・・・11個
女子洗面器 (360人)	レベル1・・・6個 レベル2・・・5個 レベル3・・・5個

<小ホール>・・・300人想定

男子大便器 (120人)	レベル1・・・2個 レベル2・・・1個 レベル3・・・1個
男子小便器 (120人)	レベル1・・・4個 レベル2・・・3個 レベル3・・・3個
男子洗面器 (120人)	レベル1・・・3個 レベル2・・・2個 レベル3・・・2個
女子大便器 (180人)	レベル1・・・7個 レベル2・・・6個 レベル3・・・5個
女子洗面器 (180人)	レベル1・・・4個 レベル2・・・3個 レベル3・・・3個



空調調和・衛生工学会「衛生器具の適正個数算定法(1)～(8)」より抜粋